額縁・キャンバス販売・張り替え・梱包・地方発送・保管
各種展覧会の搬入搬出・企画から展示プラン作成等
どうぞお気軽にご相談ください。

有限会社アートン
ARTON
0466－48－8488



arton.event@gmail.com
https://www.arton.events
〒252-0821　神奈川県藤沢市用田211－4



横浜市西区宮崎町30
電話045-231-4935
横浜市民ギャラリーすぐそば

横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール 2026年10月～ 2027年1月

※2026年6月15日時点での情報です。主催者の都合により情報が変更されることがあります。

10月 October

主催 新・今日の作家展2026 土星の環の観測点［1F/B1F］
9/12～10/5　10:00～18:00（入場は17:30まで）　※9/28休場
同時代の作家の作品を展覧し、現代美術の表現とその背景を探る「新・今日の作家展」。今回は「土星の環の観測点」をテーマに掲げ、気鋭の若手作家 サリーナ・サッタボン、横手太紀、辻梨絵子を招聘。映像、インスタレーション等
主催：横浜市民ギャラリー

第65回 アーネスト美術展［3F］
9/29～10/5　10:00～18:00　※初日13:00～、最終日～16:00
油彩、日本画、水彩等、約60点を展示
主催：アーネストクラブ

第58回 神奈川現展［2F］
9/29～10/5　10:00～17:00　※初日14:00～、最終日～16:00
神奈川現展所属作家による油彩水彩、写真、立体工芸等約100点展示
主催：現代美術家協会 神奈川支部

第6回 外苑キャンバス展［3F］
10/6～10/12　10:00～18:00　※初日13:00～、最終日～15:00
京都芸術大学通信教育部卒業生による作品の展示、油彩他約40点
主催：GAL 2018

PHOTO PAL CLUB 第5回 写真展［2FB］
10/6～10/12　10:00～17:00　※初日13:00～、最終日～15:00
見る、感じる、考える、そして表現する。個展形式の作品展
主催：PHOTO PAL CLUB

2026 光画塾 Monolog［2FA］
10/7～10/12　10:00～17:00　※最終日～15:00
全日本写真連盟に所属の作家が個展形式でそれぞれの世界観を表現
主催：光画塾

第69回 凌雲書展［全室］
10/15～10/18　10:00～17:00　※最終日～16:00
「古典に学び、個性のある書の美を拓く」を基本理念にする公募展
主催：凌雲社

2026年 第37回 神奈美会員展［1F/B1F］
10/20～10/26　10:00～17:00　※初日13:00～、最終日～16:00
神奈川美術協会会員による日頃の創作活動の作品発表
主催：神奈川美術協会

春陽会 神奈川研究会展［3F/2F］
10/21～10/26　10:00～17:00　※最終日～14:00
個人主義をモットーとする春陽会。それぞれ個性的作品勢揃い
主催：春陽会 神奈川研究会

第39回 鎌倉・横浜スケッチ会 秋季展［3F］
10/27～11/2　10:00～17:00　※初日13:00～、最終日～15:00
国内外の風景を描いた水彩スケッチ　主催：鎌倉・横浜スケッチ会

第38回 雨聲会 横浜書展［B1F］
10/28～11/1　10:00～18:00
子供の半紙作品や、淡墨を中心とした一般の書道作品を展示
主催：雨聲会 横浜支部

第50回 鐵門社書展・第47回 鐵門社学生書展［2F/1F］
10/30～11/1　10:00～17:00　※最終日～15:30
大小様々な作品から学生作品まで、力作を展示　主催：鐵門社

11月 November

第82回 ハマ展［全室］
11/4～11/15　10:00～17:00　※最終日～14:00
洋画、日本画、彫刻立体、写真4部門の会員会友及一般公募作品
主催：横浜美術協会

第65回記念 神奈川旺玄展［全室］
11/17～11/23　10:00～17:00　※初日14:00～、最終日～15:00
旺玄会神奈川支部員及び一般公募による絵画作品180点の展示
主催：一般社団法人 旺玄会 神奈川支部

第19回え塾展［3F］
11/24～11/30　10:00～17:00　※初日13:00～、最終日～15:00
絵画教室「え塾」による展示、油彩・日本画・水彩画等200点
主催：横浜美術学院/え塾

第4回 美・QU展［2FA］
11/24～11/29　11:00～17:00　※初日13:00～、最終日～15:00
油彩、水彩、日本画等約60点、最大130号、100号も数点
主催：美・QU会

第59回 横浜鶴写会（旭支部）写真展［2FB］
11/24～11/30　10:00～17:00　※初日13:00～、最終日～15:00
メンバーそれぞれの視点で表現された写真作品を展示
主催：横浜鶴写会（旭支部）

Art School+Yokohama Student Exhibition No.13［1F］
11/25～11/29　10:00～18:00　※最終日～15:00
アートスクール横浜に通う生徒の絵画作品展示発表会
主催：株式会社 雪下堂美術（アートスクール横浜）

共同 よそではかえす ことばとかたち［B1F］
11/26～11/29　10:00～18:00
こどものねんどあそびを起点に人の創造性を探る研究と映像作品
主催：多摩美術大学（学内共同研究「造形と言語」）
共催：横浜市民ギャラリー

12月 December

第65回記念 神奈川県女流美術家協会展［全室］
12/2～12/7　10:00～17:30　※最終日～15:00
女性対象の公募展、油彩、水彩、立体等約200点を展示
主催：神奈川県女流美術家協会

令和8年度神奈川県高等学校総合文化祭 第63回 高等学校書道展［全室］
12/9～12/13　10:00～18:00　※最終日～16:00
神奈川県内の高校の書道部や授業で制作した書作品、約900点
主催：神奈川県高等学校文化連盟 書道専門部会

2026（第71回）全神奈川写真サロン公募展［3F］
12/16～12/20　10:00～17:00　※最終日～15:00
神奈川県下最大規模の歴史ある公募写真展、入賞作品100点
主催：全日本写真連盟 神奈川県本部

令和8年度神奈川県高等学校総合文化祭 第53回 高校生写真展［2F］
12/16～12/20　10:00～18:00　※最終日～14:00
県内高校の写真部生徒が出展するパネル貼りにした写真作品展
主催：神奈川県高等学校文化連盟写真専門部会

第40回 港の作家小品展［1F］
12/16～12/20　10:00～17:00　※最終日～16:00
公募団体の枠を超えた自由な創作活動の作品発表
主催：港の作家美術協会

共催 横浜市民ギャラリーU35若手芸術家支援事業［B1F］
奥村美海個展
12/16～12/20　10:00～18:00　※最終日～14:00
日常的な筆跡をモチーフにした油彩やドローイングなど多数展示
主催：奥村美海　共催：横浜市民ギャラリー

横浜三大学連合写真展［3F］
12/23～12/28　10:00～18:00　※最終日～14:00
横浜国立大学・関東学院大学・神奈川大学の写真部による写真展
主催：横浜三大学写真連合

横浜芸術学校デザイン美術コース 第21期生卒業作品展［2F］
12/23～12/25　10:00～18:00　※最終日～13:00
橋学苑高等学校デザイン美術コース第21期生による卒業作品展
主催：橋学苑高等学校デザイン美術コース

neighby annual 2026：コレクティブ ガラパゴス［1F］
12/23～12/28　10:00～18:00　※最終日～14:00
共作を通じてグラフィックデザインの表現の可能性を探る年度展
主催：neighby

1月 January

洋介丸 初個展「絶望」―絶望の先に、光はなく―［1F］
1/6～1/10　10:00～18:00　※初日11:00～、最終日～15:00
絶望の先に残された孤独を絵画や詩で静かに描く個展会 主催藤塚洋介

SDGs持続可能な写真アート展「二十四節気」［B1F］
1/6～1/10　10:00～18:00　※最終日～16:00
二十四節気の彩りをSDGs写真アートで持続可能な未来につなぐ
主催：一般社団法人 SDGs写真アート協会

令和8年度 横浜市立学校総合文化祭 小学校児童書写展・中学校書写展［全室］
1/13～1/17　10:00～17:00
横浜市立学校等の児童生徒が平素学習した書写作品を一同に展示　主催：横浜市教育委員会 学校教育部 学校経営支援課

令和8年度 横浜市立学校総合文化祭 図画工作・美術・書道作品展［全室］
1/20～1/24　10:00～18:00
横浜市立小、中、高、特別支援学校の児童生徒による作品展
主催：横浜市教育委員会事務局 学校教育部 学校経営支援課

横浜美術友の会 2026年度受講生作品展［3F/1F/B1F］
1/27～2/1　10:00～17:00　※最終日～14:00
絵画教室25クラスの受講生作品400点を展示
主催：特定非営利活動法人 横浜美術友の会

神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展［2F］
1/29～2/1　10:00～18:00　※最終日～14:00
神奈川県高等学校定時制通信制の生徒による作品展
主催：神奈川県高等学校定通教育振興会

2027年 第49回 神奈美公募展

2027年4月14日(水)～18日(日) 10:00～17:00（最終日16:00まで）
［会　場］　横浜市民ギャラリー　1階・2階・3階 展示室
［応募作品］　油彩、水彩、アクリル、日本画、ミクストメディア、墨絵、パステル、和紙画、版画、染・織、陶芸、ガラス工芸、創作人形、等　［応募資格］　15歳以上
［出 品 料］　3点まで5,000円、4点以上の場合、1点増すごとに1,000円加算。学生、身障者は3点まで2,500円、4点以上の場合、1点増すごとに500円加算。受付の時、学生証、身障者手帳を提出（コピー可）。
［搬　入］　2027年4月11日(日)10:30～14:00 横浜市民ギャラリー1階搬入口
［ギャラリートーク］　2027年4月18日(日)13:00から会場にて 美術評論家 清水康友氏
［搬　出］　2027年4月18日(日)16:00～17:00（時間厳守）
［授　賞］　優秀作品には、神奈川美術協会賞、神奈川県知事賞、横浜市長賞等を授与。
神奈川美術協会 事務局　〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 3-2-11　山本勝彦方　携帯 TEL 090-3104-9371　http://kanabi.on.coocan.jp

二科 神奈川支部展

主催・二科 神奈川支部
2027 第69回
会期：2027年6月2日(水)～6月7日(月) 午前10時～午後6時（最終日午後3時終了）
会場：横浜市民ギャラリー（地下1階～3階）
作品公募・事前届締切 2027年5月1日(土)　搬入日 2027年5月29日(土)
●応募資格　神奈川県内に在住、在勤、在学する中学生以上の方　※学生部門無料
●作品内容　絵画、出品点数 2 点以内（サイズS20号以上F100号まで）、出品料（1点5,000円、2点6,000円）
●連 絡 先　二科神奈川支部事務局　渡邉 仁美　TEL:045-435-0788

黄鶴堂
JAPANESE TRADITION
黄鶴堂は、絵具屋三吉が運営する日本画材専門店です。

絵画教室

＊ＨＰで募集中の空きクラスをご紹介中
［期間］　4月～3月（1年間）　＊中途からでも入れます
［講座］　全25クラス(レギュラー12 専科 13 クラス)　各クラス 20～35 名　年間 20 回
［内容］　レギュラー、専科（人物、風景、油彩、水彩、大作等）
［費用］　44,000 円～／年　※中途からは日割り計算

2026 年度の空きクラスを追加募集中
お問い合わせ、お申し込みは、お電話、メールで

NPO法人横浜美術友の会
〒231-0062 横浜市中区桜木町2-2　港陽ビル6階
TEL 045-651-9313　FAX 045-323-9841
ホームページ　https://yokobitomo.com/
メールアドレス　yokobitomonokai@orion.ocn.ne.jp

予告 **横浜・紅葉ケ丘まいらん イベント情報**

知る・見る・歩く「前川國男建築と紅葉ケ丘の文化施設」

2026年11月10日（火）［講義］13:00-15:00　［5館まち歩き］15:15-17:00
申込方法：にしく市民活動支援センター“にしとも広場”のHPから申込み
主催：にしく市民活動支援センター“にしとも広場”　協力：横浜・紅葉ケ丘まいらん

5館を巡るウォーキング“まいらんさんぽ”

2026年12月8日（火）予定
申込方法：横浜シティガイド協会HPまたはFAXにて、10月上旬受付開始予定

5つの公立文化施設等を巡る“スタンプラリー”

2027年1月16日（土）－2月3日（水）予定　参加費：無料 ＊スタンプをすべて集めた方に抽選で賞品を贈呈

「まいらん」とは、紅葉ケ丘に立地する 神奈川県立音楽堂（Music Hall）、神奈川県立青少年センター（Youth Center）、神奈川県立図書館（Library）、横浜市民ギャラリー（Art Gallery）、横浜能楽堂（Noh Theater）の頭文字をあわせた「MYLAN」をひらがなで表したものです。

催し物 ピックアップ **横浜美術館**　最寄駅：みなとみらい線「みなとみらい駅」JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」

毛利悠子 Recompose　第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館帰国展

2026年7月24日（金）－11月23日（月・祝）
10:00～18:00（11月21日・22日は20時まで）
＊入館は閉館の30分前まで
休館日：木曜日（8月13日、9月24日、11月19日は開館）

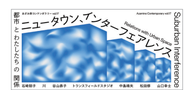
国内外で目覚ましい活躍をみせるアーティスト、毛利悠子（1980年神奈川県生まれ）。2024年の第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館で開催され、大きな話題を呼んだ個展「Compose」。ヴェネチアでの展示から2年を経て、横浜で再構築（recompose）されます。


第60回ヴェネチア・ビエンナーレ日本「Compose」展示風景（2024年）（主催：国際交流基金）撮影：久家靖秀

［お問合せ］横浜美術館　〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL 045-221-0300　https://yokohama.art.museum/

催し物 ピックアップ **横浜市民ギャラリーあざみ野**　最寄駅：東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」

あざみ野コンテンポラリー vol.17 ニュータウン、インターフェアレンス 都市とわたしたちの関係



2026年10月10日（土）－11月3日（火・祝）
11:00～18:00　休館日：10月26日（月）

本展は、郊外・ニュータウンなどの「都市」や「土地」のイメージをめぐり、人と場所との関係がどのように結ばれ、揺らいできたのかを、多様な作品を通して考える展覧会。出品作家：石﨑朝子、川、谷山恭子、トランスフィールドスタジオ、中島晴矢、松田修、山口幸士

［お問合せ］横浜市民ギャラリーあざみ野　〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
アートフォーラムあざみ野門　TEL 045-910-5656　FAX 045-910-5674　https://artazamino.jp/

催し物 ピックアップ **黄金町バザール＋上大岡バザール2026**

交差する私たち ―アートでつながるまち―



2026年9月10日（木）－10月12日（月・祝）
黄金町会場 11:00-19:00
上大岡会場（京急百貨店・ウィング上大岡）10:00-20:00
休館日：木曜日（9/10をのぞく）※上大岡会場会期中無休

黄金町バザールは、アートとコミュニティの関係性、そしてアジアとの交流をテーマに、2008年より開催しているアートフェスティバルです。黄金町エリアと上大岡エリアの2会場を舞台に、東アジア・東南アジアをはじめとする国内外約20組のアーティストが参加し、作品展示を行います。会期中には、パフォーマンスやアーティストによる自主企画展など、多彩なプログラムも予定しています。アーティストと地域、人と人とが交差する場として、展覧会の新たな可能性を探ります。

［お問合せ］特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター　〒231-0054 横浜市中区黄金町1-4先
高架下スタジオSite-B　TEL 045-261-5467　E-mail info@koganecho.net　https://koganecho.net/

横浜市民ギャラリーの総合情報誌　2026年10月－2027年1月

アート ヨコハマ 87

ART YOKOHAMA
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine
Oct. 2026 - Jan. 2027

特集 **新・今日の作家展2026 土星の環の観測点**

New “Artists Today” Exhibition 2026
Sightlines to Saturn’s Rings


横手太紀《浮く瓦礫/Po, (when the cat’s away, the mice will play)》2023年 Art Collaboration Kyoto（京都）での展示風景。瓦礫、ミクストメディア
撮影：松見拓也 © Taiki Yokote

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

開催

新・今日の作家展2026
土星の環の観測点

New "Artists Today" Exhibition 2026 Sightlines to Saturn's Rings

サリーナ・サッタポン Sareena SATTAPON　辻 梨絵子 TSUJI Rieko　横手 太紀 YOKOTE Taiki

横浜市民ギャラリーは、日本の現代美術展の先駆けである「今日の作家展」(1964～2006年)の理念を継ぎ、同時代の表現を紹介する「新・今日の作家展」を2016年から開催しています。
2026年は「土星の環の観測点」をテーマに、気鋭の若手作家3名を招聘します。サリーナ・サッタポンは、特殊フィルターを用いた映像インスタレーションで隔絶や格差を可視化し、個や他者、社会とのつながりについて考えることを促します。横手太紀は、彫刻や映像を通して、塵や瓦礫など見過ごされがちな存在の背後にある物語を掘り起こします。辻梨絵子は、多様な人々との対話を通じて相互理解の難しさに向き合い、近作の自作のぬいぐるみが登場する映像に現代の私たちの姿を映し出します。
異なる距離、周期で公転する地球や太陽との位置関係によって、土星の環は約15年に一度地球から観測しづらくなります。私たちが時に他者の姿を見失ってしまうことは、この「土星の環の消失」に重ね合わせることができるかもしれません。3名の作品は、現代の私たちが無意識のうちに目をそらしている事象を浮き彫りにし、他者や社会をまなざすための態度を指し示してくれることでしょう。



辻梨絵子
《オール・イズ・ラブ》2024年
映像 62分

2026年9月12日(土)－10月5日(月)　※休場日 9月28日(月)
10:00－18:00(入場は17:30まで)
横浜市民ギャラリー展示室1、B1　入場無料
主催：横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体）
助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団

◆関連イベント

❶出品作家によるギャラリーツアー
9月12日(土) 15:00－15:45　会場：展示室1、B1　参加無料(申込不要)

❷対談　横手太紀×赤坂憲雄（民俗学者）「星のいるところ」
9月19日(土) 14:00－15:30　会場：4Fアトリエ　定員：50名　参加費：500円(申込不要)

❸ワークショップ「なりたい姿のぬいぐるみをつくろう」
お姫さまやネコなど、自分がなりたい姿を想像し、布やフェルトを使ってぬいぐるみをつくります。完成したらぬいぐるみの撮影タイム！出品作品についてもお話しいただきます。
9月23日(水・祝) 13:30－16:30　講師：辻梨絵子　会場：4Fアトリエ
対象・定員：小学5年生以上・16名　参加費：2,000円(要事前申込)

❹ワークショップ「Magic Glasses――魔法のめがね」
サリーナ・サッタポンさんの作品には、モニターに映し出されている映像を視認するための特殊なフィルムが使われています。そのフィルムを使ってメガネをつくり、作品を見ながらお話を聞きます。
9月26日(土) 14:00－15:30　講師：サリーナ・サッタポン　会場：4Fアトリエ、展示室1
対象・定員：中学生以上・12名　参加費：1,500円(要事前申込)

❺学芸員によるギャラリートーク
10月3日(土) 14:00－14:30　会場：展示室1、B1　参加無料(申込不要)

※申込方法等の詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。
※出品作家3名のインタビューを事前収録し、公式ウェブサイトと会場で公開します。



サリーナ・サッタポン《In the realm beyond spectrum》(東京藝術大学大学院美術研究科 博士審査展2024)(2024年、東京藝術大学)での展示風景　ビデオ・インスタレーション　Photo: Niwa Keitaro ©Sareena Sattapon



サリーナ・サッタポン《When you find you》「When you find you in the middle of emptiness」(2025年、Root K Contemporary)での展示風景　©Sareena Sattapon



辻梨絵子《バージョンズ》2025年　映像 6分34秒



横手太紀《星のいるところ》2024年　CON_(東京)での展示風景　映像　撮影：小俣美彦　@Taiki Yokote

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.36　平野杏子（ひらの・きょうこ）

平野杏子さんは1930年伊勢原市に生まれ、共立女子専門学校で洋画家の大久保作次郎氏、長屋勇氏に師事し、油彩を描き始めました。初期は具象画を手がけていましたが、後に抽象表現を取り入れ、仏教を主題とした作品や韓国を取材した作品など、多様なテーマで制作してきました。《春林天》は、横浜市民ギャラリーでの個展「三十年の歩み　平野杏子作品展」(1982年)への出品を機に収蔵されました。幼少期に父親から中国出征の体験談を聞き、その記憶をもとに壮大な中国の風景を想像したことが制作の背景にあるといいます。暑り空を背に屹立する木の姿は龍など架空の生物を思わせ、執拗なまでに細密に描かれたその木肌は見る者の視線をひきつけます。1960年代半ばに学んだ細密画法を取り入れた、シュルレアリスティックな制作の延長に位置づけられる作品です。平野さんは、その後、縄文文化や神話へ関心を広げ、油彩のほか版画や彫刻など、多彩な技法による表現に取り組んでいます。

横浜市民ギャラリー Webサイト「インタビューアーカイブ」に平野杏子氏、西森禎子氏のインタビューを公開しました。ぜひご覧ください。



平野杏子《春林天》1981年　油彩、キャンバス　130.4×80.9cm　横浜市民ギャラリー蔵
©平野杏子(HIRANO Kyoko)

予告

大人のための アトリエ講座　2026年度後期

クリエイティブな時間を過ごしたい方におすすめの講座

横浜市民ギャラリーでは、学生からシニア世代まで、幅広い年齢層の方々が、経験を問わずに創作活動やクラチャーを楽しむことができる「大人のためのアトリエ講座」を開講しています。ギャラリーフロア最上階にあるアトリエにて、身近にアートを感じながら、さまざまなクリエイティブ体験がお楽しみいただけます。

はじめての油絵〈全1回〉

油絵を描いてみたい！と思っている方のための、油絵具の準備や制作、片付けまでを1回で学べる講座です。前半は、油絵の歴史や絵具の特徴、道具の使い方について学び、後半はリンゴをモチーフに小さな油絵作品を描きます。艶のある独特な油絵具の魅力に触れながら、描く時間を楽しみましょう。道具や材料はすべてこちらでご用意しますので、どなたでもお気軽にご参加いただけます。
※使用するキャンバスはF3サイズ(27.3×22.0cm)です。

11月28日(土) 13:30～16:30

講　師　皆川琴美(画家)
定　員　18名(応募多数の場合は抽選)
参加費　5,000円(材料費込)
受付期間　9月14日(月)～11月2日(月)必着
※締切後、当選の連絡を受けた方が講座に参加できます。
※「大人のアトリエ講座」の詳細・申込方法は、公式ウェブサイトまたはチラシをご覧ください。



講座イメージ

予告

ハマキッズ・アートクラブ

子どものためのアトリエ講座「ハマキッズ・アートクラブ」では、小学生以下の幼児・児童を対象に、造形を中心とする講座を年に10回開催しています。子どもたちに「自分で考える」「自分できめる」「自分でする」ことの楽しさや醍醐味を体験してもらい、アートを通じて大人になるために必要な自立心を育むことを目的とする講座です。

★カンフーでなかよくなろう

カンフーのひとつ詠春拳(えいしゅんけん)をやってみよう。
手と手をあわせると、からだのことがよくわかるかも？



「OPEN SITE 10『詠春拳プロジェクト』」(トーキョーアーツアンドスペース本郷)
撮影：高橋健治　画像提供：Tokyo Arts and Space





12月12日(土) 10:30～12:00

講　師　小林勇輝(現代美術家・パフォーマンスアーティスト)
対象・定員　年中・年長児と保護者　15組
参加費　一組1,500円
受付期間　11月21日(土) 10:00～12月11日(金) 17:00(先着順)
※講座の申込みを希望される方は、あらかじめPeatixの会員登録が必要です(無料)
※「ハマキッズ・アートクラブ」の詳細・申込方法等は、公式ウェブサイト(上記QRコード)またはチラシをご覧ください。

報告

横浜市こどもの美術展2026
子どもたちの力作1,562点とたくさんの笑顔が夏を彩りました！

1965年に始まり、昨年60周年を迎えた「横浜市こどもの美術展」。今年は新たな出発を祝し「はじめまして」のテーマのもと開催しました。横浜市内在住・在学の0～12歳の子どもたちから1,562点の絵画が集まり、1階から3階までの展示室が、自由でのびやかな作品でいっぱいになりました。連日の暑さにもかかわらず、子どもから大人までたくさんの方々にご来場いただき、作品をみたり、記念撮影をしたり、ワークショップを楽しんだりする姿が見られました。「はじめまして」のミッションカードを手に、展示室でのやくそくを確認しながら館内をすみずみまでめぐる「展覧会マスター」の子どもたちがたくさん登場しました。



photo:Ken Kato



自由参加ワークショップ「へんしん!おめんをつくろう」photo: Ken Kato
子どもも大人も夢中になってお面をつくり、ボランティアの皆さんが笑顔で活動をサポートしました。会場は、お面をかぶって「へんしん!」した人たちでいっぱいになり、とてもにぎやかでした。



ハマキッズ・アートクラブ作品展示　photo: Ken Kato
ワークショップ会場の壁面には、6月21日に開催した「カラーテープで絵を描こう」の参加者の作品を展示しました。テープを上手に使って、花、いきもの、海、のりもの、宇宙などが大画面で表現されました。



こどものためのコレクション展「はじめまして」　photo: Ken Kato
油彩画、日本画、陶芸、写真などの所蔵作品12点と詩を展示した小さなコレクション展。子どもから大人まで、お気に入りの作品についての感想や模写など、228点ものコメントカードが寄せられました。



「はじめまして」の鑑賞会
コレクション展の鑑賞会を開催。「これは何だろう？」という問いかけに「メロン！」「梨！」「顔きかな」「メロンとかぼちゃが合体したのかも」などたくさんの意見が！お話しながら作品をじっくりみることができました。



「はじめまして」のミッションカード
photo: Ken Kato
「てんじしつの やくそくを まもろう」などのミッションが書かれたカードを受付で配布。子どもたちはミッションをクリアするごとにカードを折っていき、最後にはメダルが完成！「展覧会マスター」の証です☆

［展覧会データ］
横浜市こどもの美術展2026
2025年7月17日(金)～26日(日)　全10日間
10：00～17：00　※初日は13：00～
横浜市民ギャラリー　全室
出品作品：1,562点
展覧会入場者11,259名(うちワークショップ参加者1,251名)、その他イベント参加者896名、ボランティアのべ102名、インターンのべ7名　合計12,264名
主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社共同事業体)
後援：横浜市教育委員会
協賛：学校法人 岩崎学園

ご利用ください《無料送迎車サービス》

JR桜木町駅⇔横浜市民ギャラリーを巡回

桜木町駅東口「タクシー降車場」看板隣の「**貸切観光バス乗場**」**看板付近**に送迎車が停車します。お身体の不自由な方・高齢者の方に配慮した送迎車サービスです(どなたでもご利用いただけます)。

［送迎車の定員］
9名
(車いす1台を含む)





※状況により運休等の場合があります。必ず運行状況を事前に当館公式ウェブサイトか電話等でご確認の上、ご利用ください。
※原則第3月曜日、年末年始は休館のため運行がありません。また、展覧会のない日も全便運休です。
※皆様の安全を確保するため、大きなお荷物を携行している場合やシートベルトを正しく装着できない場合は乗車をお断りすることがあります。
※展覧会初日と最終日や展示室の利用時間によっては始発・最終発の時刻が変更となったり、運休する場合があります。
※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。

【送迎車時刻表】

JR桜木町駅発

9	45		
10	00	20	40
11	00	20	40
12	00	20	40
13	00	20	40
14	00	20	40
15	00	20	40
16	00	20	40
17	00	20	

横浜市民ギャラリー発

10	10	30	50
11	10	30	50
12	10	30	50
13	10	30	50
14	10	30	50
15	10	30	50
16	10	30	50
17	10	30	45
18	00		



横浜市民ギャラリー　〒220-0031 横浜市西区宮崎町26番地1
TEL 045-315-2828　FAX 045-315-3033
10：00～18：00　原則 毎月第3月曜日、年末年始休館
https://www.facebook.com/ycag1964　@ycag1964　@ycag1964

電車でのアクセス
JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分　※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め❶の坂道を進みます。
京急「日ノ出町駅」から徒歩8分　※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み❷の坂道を上がります。

バスでのアクセス
市営バス103・292系統「戸部1丁目」「野毛坂」から徒歩2～4分/市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分/市営バス8・26・101・105・106系統、京急バス110系統、神奈川中央交通　横43・港61系統「紅葉坂」から徒歩7分

送迎車サービス
桜木町駅東口「タクシー降車場」看板隣の「**貸切観光バス乗場**」**看板付近**★に送迎車が停車します。
運行スケジュールや定員等は当館公式ウェブサイトをご覧ください。

駐車場
予約制・有料[駐車場専用TEL] 045-315-4440 ※1週間前から受付

©Yokohama Civic Art Gallery

編集・発行：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/西田装美株式会社共同事業体)　発行日：2026年10月1日　デザイン：小野寺健介